

「松山市こども計画」策定に向けた こどもワークショップ 実施報告

第3回

▼開催日 令和6年12月21日（土）14：00～16：30

▼参加人数 13名（小学生3名・中学生4名・高校生6名）

▼ファシリテーター 一般社団法人WONDER EDUCATION 越智 大貴 氏

▼プログラム

1. はじめに（第1回、第2回の振り返り）

2. グループワーク

①自己紹介（名前・学校・学年、サンタさんにお願いしたいもの、
こどもの権利カードで気になるもの）

②ワーク ▶松山市こども計画とは・・・
▶計画で大事と思うことを考えよう
▶松山市に求めることを考えよう
▶意見を自由に書き込んで計画を作ろう

松山市こども計画（案）

【期間】 令和7～11年度の5年間



こども計画って？

- ・松山市で暮らすすべてのこどもや若者が、
今も、そしてこれからもずっと幸せに暮らすことができる
「こどもまんなか社会」を目指すための計画です。

めざす姿

「こどもたち 一人ひとりが 主人公 ～誰もが自分らしく輝くまつやま～」



計画で大事と思うこと・松山市に求めることを考えよう

取り組むこと

(1) こどもの権利を尊重し、社会全体でこども・若者を育てる

① こどもの権利を保障します。

こども・若者が安心して意見を言えるしくみを作ります。

② 男女とも、学びや仕事をしながら、子育てしやすい環境を作ります。

③ 地域や企業などと協力しあって、こども・若者・子育てをしている人達にやさしい社会のしくみづくりを進めます。

具体的には・・・

- 対話やアンケートなどによる意見表明の機会を作ったり、こども・若者の意見を聴くファシリテーターを育てる
- 男性も女性も希望通り、育児休業制度（仕事を休んで子育てに専念できる制度）を使えるように
- 子育て情報サイトで情報発信を行う

① 計画で大事と思うこと（なぜ大事か）

- ・男女ともに子育てしやすくするのは、こどもへの虐待をなくすためにとても大事だと思った。
- ・地域に根差した仕組みづくりは、他の社会課題解決にも直結する。
- ・大人の意見だけではこどもの楽しい社会は作れない。
- ・次の社会を作るのは、こどもなので、良い社会にしていくために必要。
- ・仕事と子育てでの両立は、職場も家庭もよい環境がつかれるようになると思うから。
- ・取組②は良いと思う。シングルマザーやファザーだと大変だから。
- ・こどもを育てる人の環境を整えるために、それ以外の人の環境を整えることも大事だと思った。
- ・今のこどもからの意見を聞いていくことが大事。
- ・今のこどもにしか分からないこともある。
- ・今の当事者の意見を一番にすべきだから。
- ・色々な年代からの意見を聞くことが大事。

② 松山市に求めること

- ・情報をもっと見やすい場所（必ず目にするもの、例えばスーパーのチラシのコラム）
- ・同じ学年の人と話したり、一緒に遊べる場所と機会がほしい。
- ・先生に知られない意見を言える場がほしい。
- ・意見を受け入れているという意思表示がほしい。
- ・簡単に育休を取れる環境作り。
- ・こども主催のイベントを作る。
- ・学校の先生に見られず市役所へ意見を送る、こども・若者の意見箱を学校で置く。
- ・意見を伝えた後のフィードバックを学校にのせる。
- ・こどもだけで0から1を作り上げる機会。
- ・こどもだけでできるような行事を増やしてほしい。
- ・今回みたいな形式をとる会、こどもの話合いの場。

計画で大事と思うこと・松山市に求めることを考えよう

取り組むこと

(2) こども・若者の健やかな育ちを支える

- ①健やかな成長につながる体験や学び、安全で安心な居場所づくりを進めます。
- ②一人ひとりの成長を支える、教育や保育の環境を整えます。
- ③年齢や成長に合わせた支援を途切れることなく続けます。

具体的には・・・

- 児童館や児童クラブを運営したり、作ったりする
- 保育所などの待機児童をゼロにしたり、保育士等の負担を軽くする
- 年齢に応じた検診や救急医療（365日24時間病院へ行ける）体制を整える

①計画で大事と思うこと（なぜ大事か）	②松山市に求めること
・小学校→中学校が不安 ・自分の安心できる何かはほしい。 ・「経験しないと感じられないこと」があるから。 ・自分の不安を吐き出せるところで安心できるところもある。 ・勉強(宿題)を教えてくれる人や、友達と自由に遊べる場所があった方が、生活が充実すると思うから。 ・こどもが住みやすい・居やすい＝子育てがしやすい こどもが居やすい施設があると親も助かる。 ・保育所などの待機児童をゼロにすると親の負担が少しでも減る。 ・安心、安全な居場所があると、家以外で心が休めれるから。 ・保育士さんの負担を減らすと、保育の質が良くなると思う。 ・良い環境でないと、質の良い勉強や人間関係が形成されないと思うから。 ・誰かに頼ることによって、心身が安定すると思うから。 ・こどもが住みやすい＝親が安心して育てることができるよう ・体を動かせる ・先生が大変そう	・公園に勉強できる机がほしい。 （ガタガタしていたり穴が開いていたりしている。） ・児童館などにこどもが入りやすいカフェを作ってほしい。 ・家以外で寝れる場所 ・フリーWi-Fiがほしい ・夜遅くまで空いている無料の自習室 ・休みやすい学校 ・ボール遊びできる公園を色々なところに ・静かで、1人で勉強ができる、お金のかからない場所がほしい。 ・こどもだけで行ける、安全な場所があるといい。 ・保育士さんのお給料を増やしてほしい ・1コでなくて複数作るべき(ボールのある公園とか) ・衣服をくれる施設(古着交換会)

計画で大事と思うこと・松山市に求めることを考えよう

取り組むこと

(3) こども・若者を誰一人取り残さず重層的に支援する

- ① 様々な困難や課題を抱えるこども・若者も健やかに成長し自立できるよう、関係する機関が連携して支援を続けます。
- ② 虐待・犯罪被害などから守られ、貧困・ヤングケアラーなどの相談が支援につながるしくみを強化します。
- ③ 障がいがある、医療的ケアが必要など、支援が必要なこども・若者をそれぞれの機関が連携して支援します。
- ④ いじめ・不登校・自殺など、困難や課題について相談や支援ができるよう、様々な機関が協力し合って取り組みます。

具体的には・・・

- 保護者のいないこどもへのサポートや、子育てに不安のある家庭への家事サービスを行う
- 総合相談など、いろいろな相談窓口を設ける
- 就労訓練や生活訓練を行ったり、学校に学校生活支援員や学級支援員を置く
- いじめ0ミーティングを開いたり、専門相談窓口で相談できるようにする



計画で大事と思うこと・松山市に求めることを考えよう

①計画で大事と思うこと（なぜ大事か）

- ・環境は選べるものではないので、支援によって平等にするべき。
- ・親がいないこどもは1人ですべてしないといけないから、サポートすることが大切だと思う。
- ・いろいろな機関の中での連携で困難なことを解決できるから大事！
- ・いじめを無くすには、相談できる学校以外の場所があると安心だから大事！
- ・生まれた環境や境遇に関係なく支援を受ける必要があるから。
- ・みんなが公平に楽しむことが出来るように取り組んでいるから大事！
- ・学業向上への金銭的負担の解消
- ・貧困や障がいのある親族の世話などの負担を軽くし、充実した生活を送るためにも重要だと思うから。
- ・虐待、犯罪によって、心が傷ついたりすると一生治らないかもしれないから、大切だと思う。
- ・みんなが同じように暮らしていく。
- ・抱え込む人々が多い世の中で他の人から手を差し伸べるべき。

②松山市に求めること

- ・いじめをおこさない雰囲気
- ・身近に相談、世間話ができる場所LINEがあれば良い。（匿名で）
- ・同じ環境の人同士が集まれる居場所を作ってほしい。
- ・専門的な知識を身近に得られる環境作り。
- ・メールや電話でもできるし、場所に行って会って話すこともできたらいい。
- ・世間話ができる友だちみたいな連絡
- ・障がいのあるこどもたちもみんな一緒に過ごせるのが理想なのは分かったけど、それにこだわって辛い思いをする人がいなければいいなと思いました。
- ・いじめをされている人で「自分がいじめをされている」って言うのを言えない子は、どう相談や支援をする？※虐待の人も
- ・気楽な相談所
- ・保健室登校の不登校者によって、保健室で休みたい人が休めないから別室を作ってほしい。
- ・保健室が遠い。
- ・電話以外に相談できる
- ・バリアフリー化
- ・自分の状況からどんな進路があるのか具体的に相談できる場
- ・中高生がリアルな日常を共有できる機会。授業時間とか
- ・障がいがある人も、健康な人と同じ学校で一緒に行けるようにできる学校が欲しい。（同じように接してほしい。）
- ・タダのこども塾
- ・障がいのある子は障がいのない子と同じクラスにいれることが本当に理想？？聾学校・盲学校もいづれなくなる??
- ・自分に悩みがあっても相談をできない人はどうするの？
- ・障がいがある人となない人で、明らかに態度が違う人がいるからどうにかしてほしい（体験したことがある）

計画で大事と思うこと・松山市に求めることを考えよう

取り組むこと

(4) 若者が自ら希望するライフプランの実現を後押しする

- ①若者の生活や心と身体の健康に必要な情報を提供し、相談や支援ができるしくみにつなげます。
- ②一人ひとりの生き方を尊重し、結婚や出産を望む人を支援します。
- ③若者の「将来なりたい自分」になるための学びや挑戦を後押しします。

具体的には・・・

- プレコンセプションケア（妊娠前からの健康づくり）や、妊娠・出産期の面接を行う
- 出会いや交流などの出会いの機会を作ったり、結婚生活の家賃の補助などを行う
- 就職活動のマッチング支援や学生が新たに会社を作るときのサポートを行う

①計画で大事と思うこと（なぜ大事か）	②松山市に求めること
・若い人達の選択肢を増やして未来への希望を絶えないようにするため。 ・自らのライフプランを支援してもらうために、潰されないようにするために大切。 ・確かかどうか定かではない情報が飛び交うので、発信元が明らかになっていた方が信頼性があるから。 ・若者の力だけでは、得られない情報が多いから。 ・自分で踏み出せないあと一歩を誰かに相談することで踏み出せることもある。 ・縁を作ってくれる場所があるのはいと思う。 ・企業が行うマッチングアプリより市が関わっている方が安全なイメージがあって良いと思う。 ・妊娠・出産期の面接を行うことによって、不安が少し和らぐ。 ・夢を実現するには、金がかかるよ。 ・どんな職業があるか知らない ・自分の将来へ進むための不安が話せると安心できる。	・大学などのお金の補助が欲しい。 ・就職するまでにお金がすごくかかるのを支援。 ・マッチングアプリは危険なイメージ。安全なアプリ？ ・出産して子どもを育てることへのハードルが高い。とても。 ・各職業の人と直接お話しできる機会を設けてほしい。 ・気軽に近くの働き場を探せるアプリがほしい。バイト先。 ・就活や出産など経験者から聞ける場や、まとめサイト ・サポート概要を知れる講座などを学校で広く周知開催。 ・同じ境遇（ママ友、パパ友）の方とのイベントを周知してほしい。（もっと！）YouTubeの広告、テレビのCM ・実際のケースを見たり、聞いたりして、“だからこれをしなければならぬ”の根拠を提示してほしい。 ・質問したことなどを答えてくれるサイトづくり ・将来について相談できる場所を公園などに作って。 ・就活は漠然としたイメージ。解像度が上がるような機会。 ・結婚後や、子どもが生まれてからのサポートもしっかり。

計画で大事と思うこと・松山市に求めることを考えよう

取り組むこと

(5) 安心して子育てできるよう子育て当事者を支援する

- ①子育てをする人の負担が軽くなり、生活にゆとりが持てるよう経済的な支援をします。
- ②ひとり親家庭の課題や不安を解決するため、相談や支援を充実させます。
- ③子育て支援をする人達と協力しながら、子育てを楽しめる環境づくりに努めます。

具体的には・・・

- おむつなどの育児用品、病院代、小中学校への準備費用、大学の授業料などの金銭的サポート
- ひとり親家庭への学習支援や金銭的サポート
- こども家庭センター（0歳から18歳までのこどもや子育て家庭）や児童館など、さまざまな場所で相談できるようにする



計画で大事と思うこと・松山市に求めることを考えよう

①計画で大事と思うこと（なぜ大事か）

- ・他人の心は分からない→相談が必要
- ・少子化の原因の一つであるものなので解消につながりやすい
- ・子どもは意外と大人の顔を見ているから。
- ・孤独感に陥りやすいから。
- ・子育てをする人がサポートされて不安・課題が解決することで、こどもも幸せになると思うから大事。
- ・子育て初期はマタニティブルーに陥りやすいから大事！
- ・親の負担を減らして前向きに子育てしてもらうため
- ・こどもは自分の力（財産など）がないし、弱いから。
- ・子育て生活をしていく中で少し余裕が持てる
- ・小中学校や大学のお金のサポートが大事だと思う。
- ・ひとり親家庭の高校や大学への進学率の低いところ
- ・お母さんお父さんが学費の高い話をしていることがあるから。
- ・女性は出産前のキャリアが、育休を取るとなくなってしまう？安心して育休を取れる環境を男女ともに作ってほしい。
- ・（父）母親一人と市だけでなく、同じような境遇の（父）母親が集まれる機会を設けると共感や安心が生まれるのではないかな。
- ・各地域内での交流の少なさをイベントとかで解消して。
- ・経済的にも精神的にも支援しているので大事だと思った。
- ・学校の入学支援だけでなく、おむつなどの日用品にも支援があるのがすごく良いと思った。
- ・「子育て」って大変だと思うから、子育てを楽しめる環境づくりは良いと思う。
- ・ひとり親家庭のために相談や支援をしていて良いと思う。
- ・子育てにかかるお金を全て負担することは無理なので、この支援は子育て当事者にとってありがたいと思う。
- ・こどもが欲しいって思える人が増えるかも。

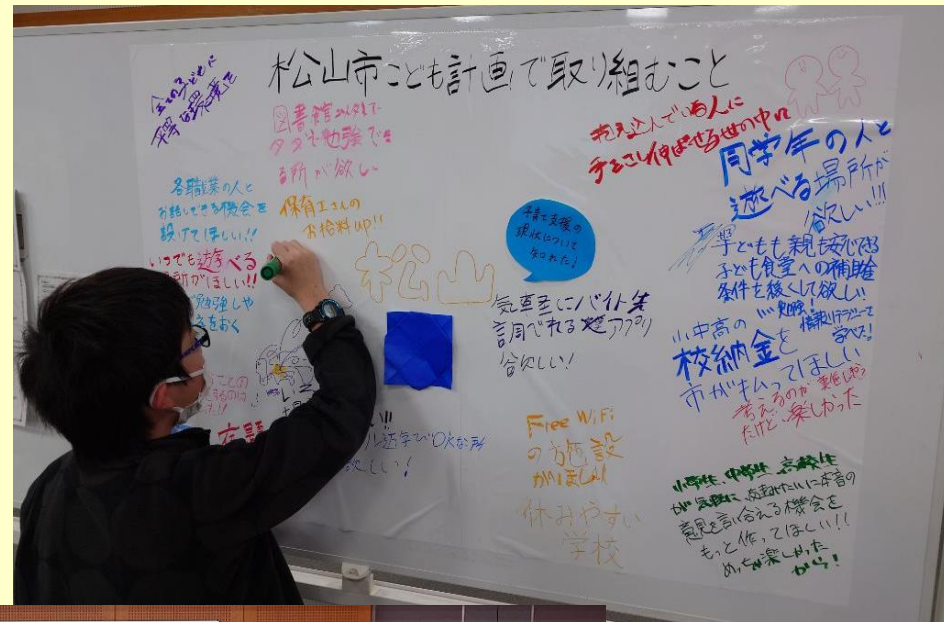
②松山市に求めること

- ・市で「ママ友アプリ」をつくる
- ・こどもを産む選択をした人を優遇する世界にする
- ・働き手が入院しているときのお金が欲しい
- ・会社の中に保育園
- ・校納金を公共団体が払う
- ・保育士・介護士などを優遇する
- ・こども専用のバスをもっと使う。作る。
- ・母親になにも考えず休める日があった方がいい
- ・子育てのその後を見守る支援（〇〇教室、〇〇サークル）
- ・おむつの無料配布。愛媛県四国中央市を用いて。
- ・助成金の金額を引き上げる
- ・育休・産休の取りやすい労働環境づくり
- ・リフレッシュできる環境づくり。
- ・児童館に行くきっかけに！イベントの周知
- ・こどもの体調が悪くなってしまったりしたときに簡単に頼ることのできる機関を設けて欲しい。
- ・経済的なものと心理的な支援の充実してほしい
- ・保育士を増やして、受け入れるこどもが増えたらいいな。
- ・育休は、休めるわけじゃないと思うので、親が育児から休める日があるといいのかな？

<グループワークのようす>

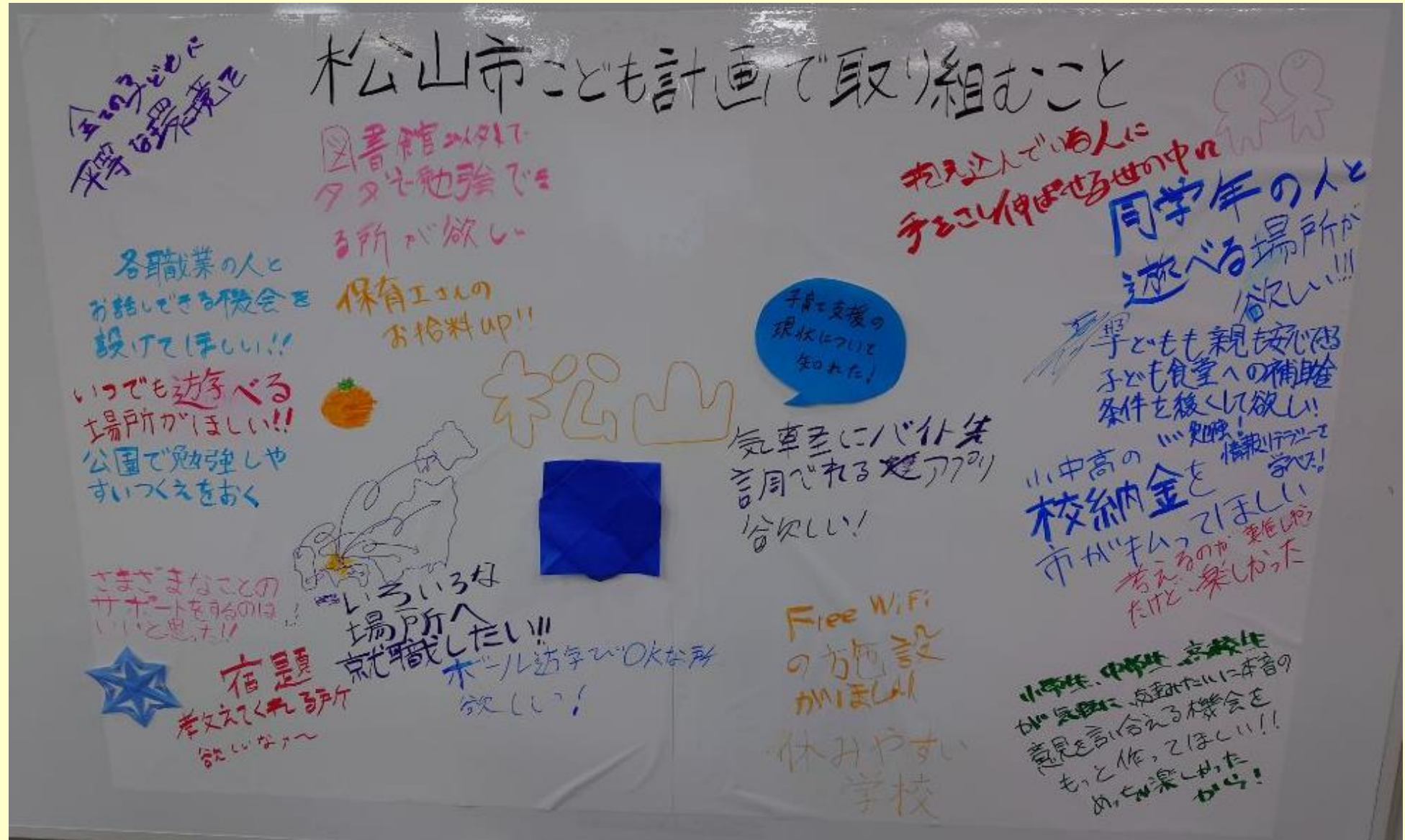


<作成風景・できあがったことも版ことも計画と一緒に>



<できあがったことも版ことも計画>

※正式なことも版ことも計画は、こどもたちが書いた言葉などをそのまま使って、後日完成させます。

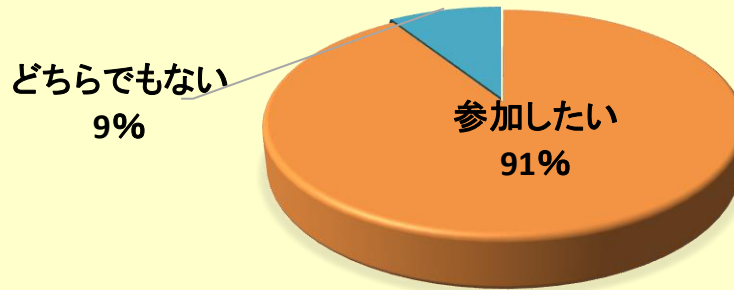


<参加後アンケート 集計結果>

Q. 今日のワークショップの満足度を教えてください。



Q. このようなワークショップにまた参加したいですか。



参加者の声(自由記述) ※抜粋

- いろいろな意見が聞けた。職員さんともお話できた。
- 私たち関連のことについて詳しく知って、皆で話しながら意見を出すのが新鮮で楽しかった。最初、自分で理解して意見が言えるか不安だったけど、皆とたくさん話すことができて意見も出しやすい雰囲気があって楽しかった。
- 小中高生がフランクに意見できる場が初めてで、楽しく充実したときをおくれた。
- 自分の意見を気軽に発言できた。もっとこういう活動が増えたらいいと思う。
- 班の人達と一緒に活動できて、よかったです。
- 最後のホワイトボードに自分の意見を書いたりしたのが楽しかったです。いろんな人と交流できて良かったです。
- いろいろな学校の人と、話し合えて、楽しかったし、勉強になった。いろいろな人の意見を聞けて楽しかったです。
- 色々なテーマを異なる年の人と話し合うことで新たな気づきが得られた。
- こども主体で行うことによって、こどもオリジナルの意見が出てきて、ジャンルも様々で考えている意見が出てきていたので良かった。
- 考えが深まった。同じくらいの歳の人と共感し合えた。自分自身の考えを深め、受験にも役立出ることができる活動にすることができた。
- 自分の意見をまとめながら他の人の意見も聞くことが出来た。よかったですとても。